

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	AI モデルによる標準化オーディオグラムを用いた聴神経腫瘍と非腫瘍性感音難聴の判別		
1. 研究の目的と方法	聴神経腫瘍は緩徐に進行する良性腫瘍です。早期発見が治療において重要です。しかし、その症状から診断することが難しく、診断はMRIに依存しているため、早期診断が困難です。近年、機械学習および深層学習(AI)を聴力検査(PTA)に用いた疾患予測モデルが診断と治療に有効である可能性が報告されています。本研究は、標準化されたPTAから聴神経腫瘍を検出するAIモデルの開発を目的としています。 患者さんのPTA像をAIモデルに取り込み、学習させることでAIモデルを訓練します。その後、学習で使用した以外のPTAを用いて、作成したモデルをテストします。テストした結果を、正答率を中心とした複数の評価項目を設定して評価します。この評価結果を、既存の診断プロトコルや人間の医師の診断と比較して、モデルの有用性を評価します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	(1)2000年4月1日～2024年12月31日までの間に東京慈恵会医科大学附属病院の耳鼻咽喉科を受診し、MRIにて聴神経腫瘍と診断を受けた方、聴力低下を訴えて外来を受診した方、聴力低下の訴えで外来を受診し感音難聴の診断のついた方 (2)20歳以上の成人の方		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	試料は使用しません。	
	(2)試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3)情報の種類	診断名、性別、年齢、検査結果（聴力検査像）、治療内容、CT、MRI	
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科学講座・再生医学研究部
		氏名	新村 一
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3)当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	

	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	Stanford 大学 耳鼻咽喉科 栗原 渉 慶應義塾大学 耳鼻咽喉科 細谷 誠
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	この研究では、外部の機関へ試料・情報を共有することはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2024 年 11 月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科学講座・再生医学研究部 研究責任者：新村 しんむら 一 はじめ 電話番号：03－3433－1111（内線 3601） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。